SANUS SYSTEMS

MF202 壁掛け金具
取 扱 説 明 書

----- 重量 27.2kg 以下 の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、MF202 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
MF202 は 15 ～ 37V 型の薄型テレビの取付用です。
視野角を± 15°、左右方向に± 15°の首振りや、±180°の 3D 回転調整等が可能です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。 必ず、販売店や工事店に依頼して、
安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ
フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよく
ご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明してます。

⚠ 警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。（してはいけない禁止内容）
⊘	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容）
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。（気をつける内容）

⚠ 警告

⊘ 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠ 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⊘ 荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。

⚠ 警告

禁止

MF202 壁掛け金具は、総重量 27.2kg 以下の薄型テレビを、木柱、又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには、絶対使用しないで下さい。
又、木柱やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

テレビの取り付けや取り外し作業は２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

禁止

本製品には小さな部品が同梱してあり、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

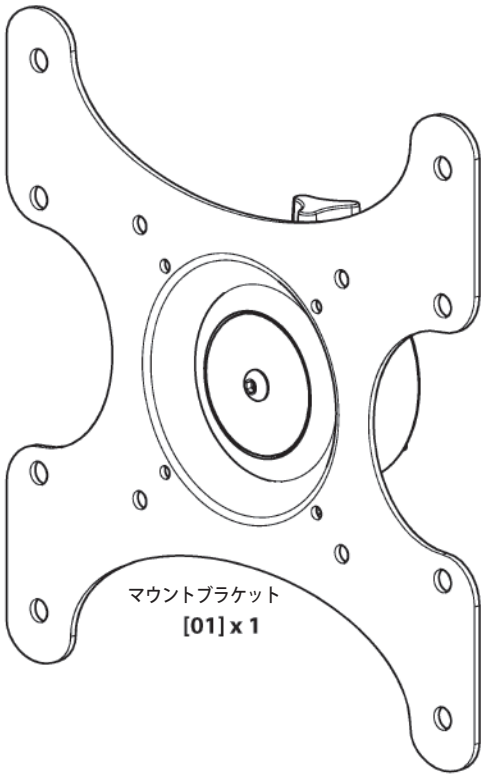
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

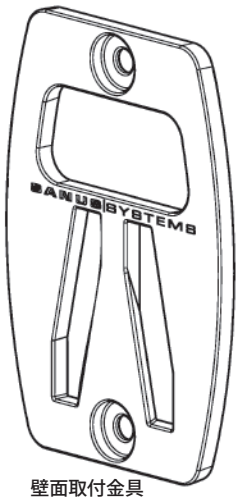
ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

２．部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次の A 図の部品の現品の形や数量を、確認しておいて下さい。

A 図





壁面取付金具
[02] x 1

部品一覧表 ----- つづき

B 図

M4 x 12mm

[03] x 4

M4 x 30mm

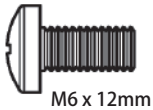
[04] x 4

M5 x 12mm

[05] x 4

M5 x 30mm

[06] x 4



M6 x 12mm

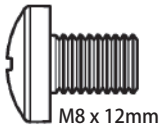
[07] x 4

M6 x 20mm

[08] x 4

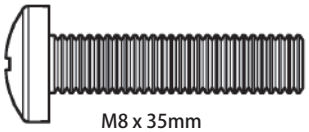
M6 x 35mm

[09] x 4



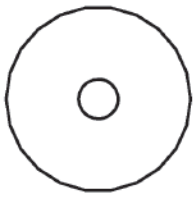
M8 x 12mm

[10] x 4



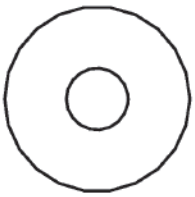
M8 x 35mm

[11] x 4



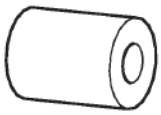
M4/M5 ワッシャー

[12] x 8



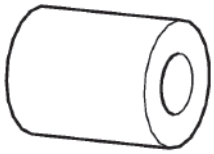
M6/M8 ワッシャー

[13] x 4



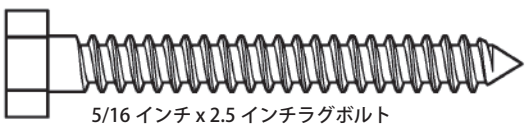
M4/M5 スペーサー

[14] x 4



M6/M8 スペーサー

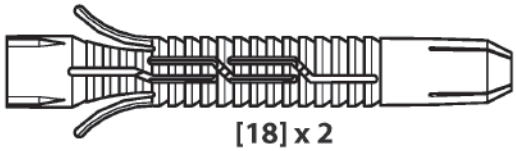
[15] x 4



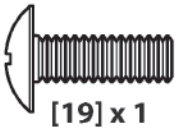
5/16 インチ x 2.5 インチラグボルト

[16] x 2

[17] x 2

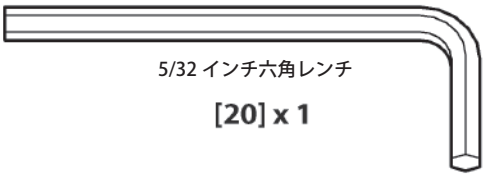


[18] x 2



[19] x 1

保護ネジ



5/32 インチ六角レンチ

[20] x 1

モニターブラケット取付用ネジの長さ調査時の注意事項

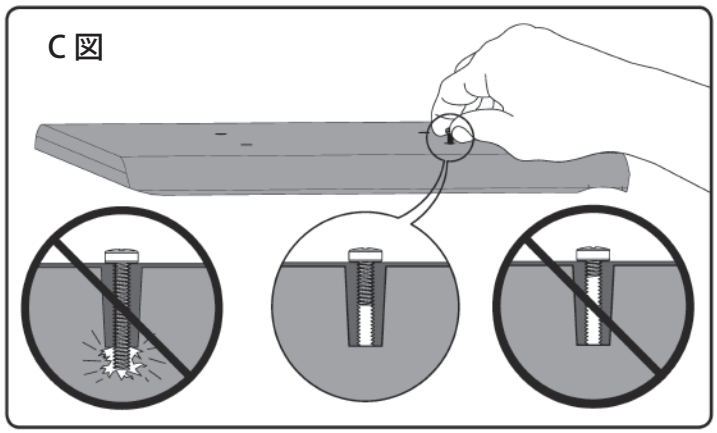
組み立てを始める前に、テレビの背面のネジ穴にネジを手でねじ込んで、正しいネジの直径（M4、M5、M6, 又は M8）と、モニターブラケットを固定するために必要なネジの長さが十分かどうかを調査します。万一ねじ込んでいて抵抗があった場合、直ちにねじ込むのを中止し、一段短いネジで固定します。

注意：ケガ等の傷害や財産の破損が起こらないように注意してください。必要最小限の長さのネジとスペーサーを組み合わせて使用しなければなりません。使用するネジ長が長すぎる場合、モニター内部のコンポーネントを破損する恐れがあります。

ネジ長が長すぎると内部の部品を破損しテレビが故障します。

最初は短めのネジで取り付けてみて、不足の場合に限り、一段階長めのネジに変更するようにして下さい。

C 図



長すぎる　　適正な長さ　　短すぎる

3　組み立てかた

1　背面が平坦な薄型テレビへのマウントブラケット取付 ----M4 及び M5 ネジの場合

注意：薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。

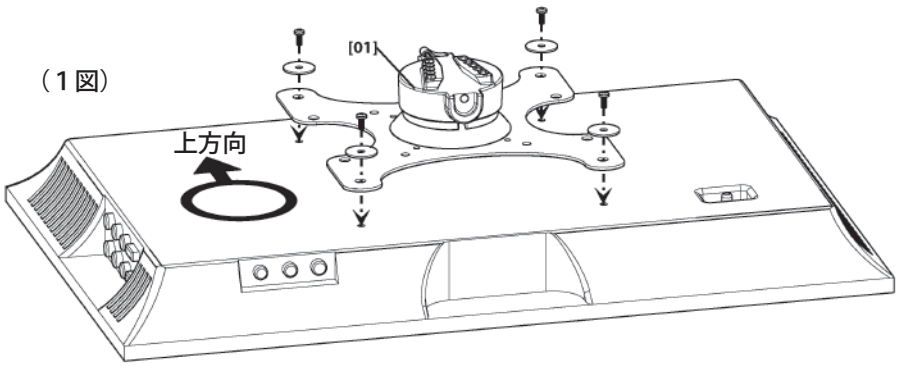
（1）薄型テレビの背面にマウントブラケット [01] を配置し、先に調べたその適合するネジ穴の口径に従って、次の作業をします。

（2）ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャーを使って、薄型テレビにマウントブラケット [01] をしっかりと取り付けます。マウントブラケットの取付方向は、（1 図）に示す矢印の「上方向」を上向きにして下さい。
ネジの長さは最短の長さの物を使って下さい。
長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。

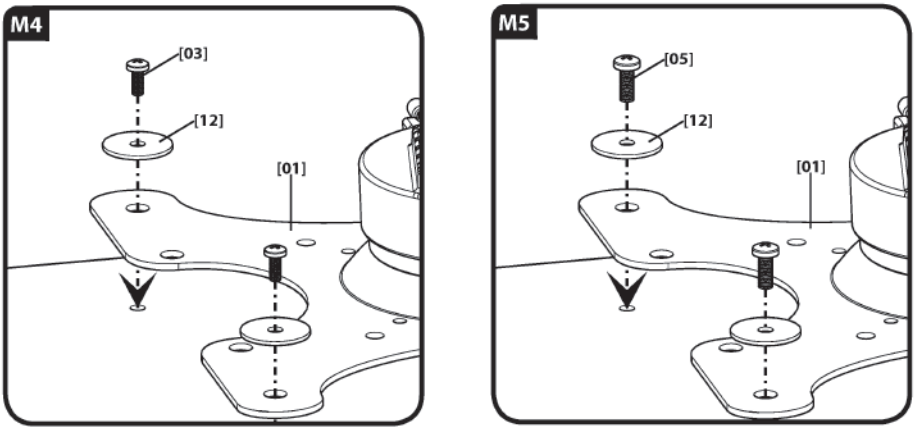
（3）マウントブラケットは、薄型テレビの背面で、テレビの上下左右の中央部に、水平に配置してある事を再確認します。

（4） 各種ケーブルを通すスペースや、くぼみ、突起物を収める余分なスペースが必要な場合、 6 頁に記載のスペーサーを使用する取り付け方法を参照してください。

（1 図）



D 図



2　背面が平坦な薄型テレビへのマウントブラケット取付 ----M6 及び M8 ネジの場合

注意：薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。

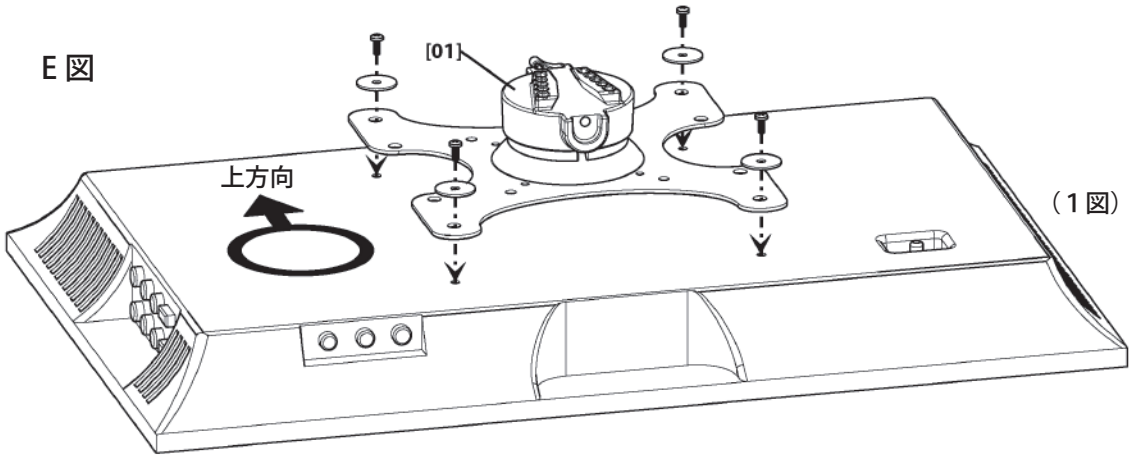
（1）薄型テレビの背面にマウントブラケット [01] を配置し、先に調べたその適合するネジ穴の口径に従って、次の作業をします。

（2）ネジ口径が M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャーを使って、薄型テレビにマウントブラケット [01] をしっかりと取り付けます。マウントブラケットの取付方向は、(1 図）に示す矢印の「上方向」を上向きにして下さい。
ネジの長さは最短の長さの物を使って下さい。
長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。

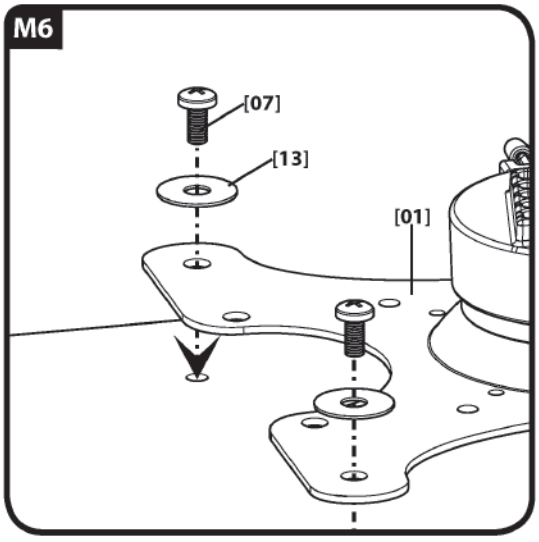
（3）マウントブラケットは、薄型テレビの背面で、テレビの上下左右の中央部に、水平に配置してある事を再確認します。

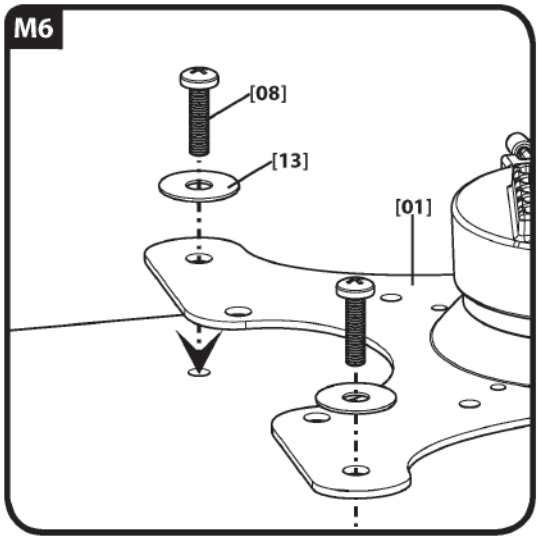
（4） 各種ケーブルを通すスペースや、くぼみ、突起物を収める余分なスペースが必要な場合、6 頁に記載のスペーサーを使用する取り付け方法を参照してください。

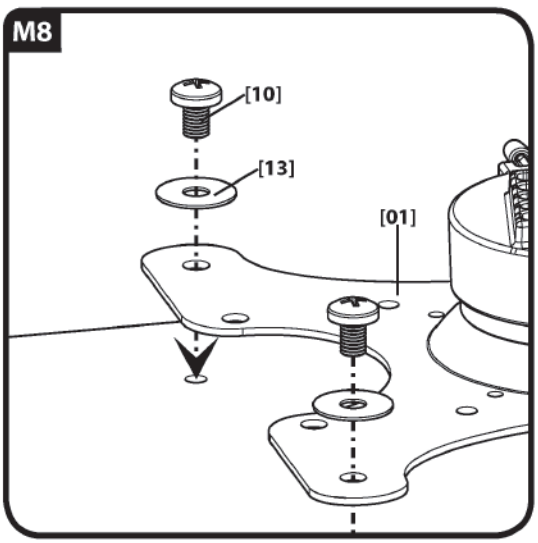
E 図



（1 図）







3　背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのマウントブラケット取付

注意：1．薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
2．テレビ取り付けの障害にならず、背面の湾曲に対応するため、最小のネジとスペーサーを組み合わせます。

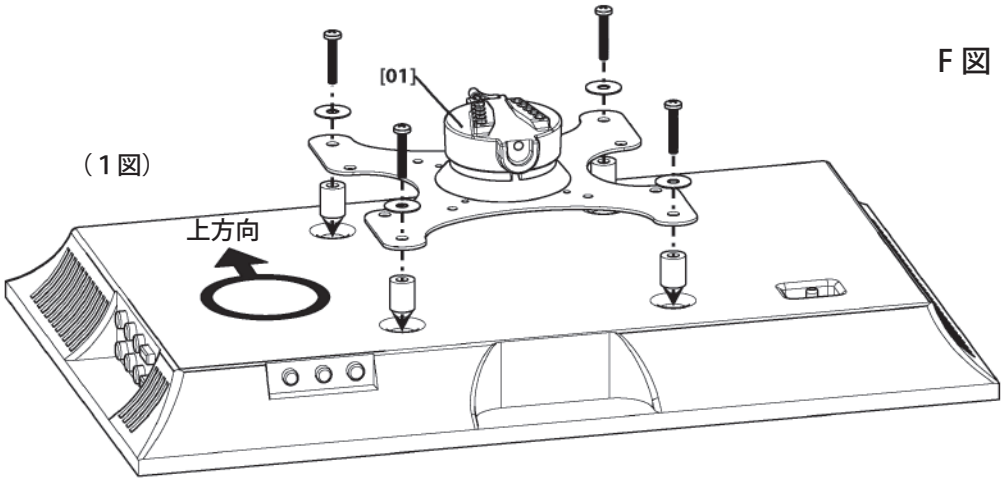
（1）薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。

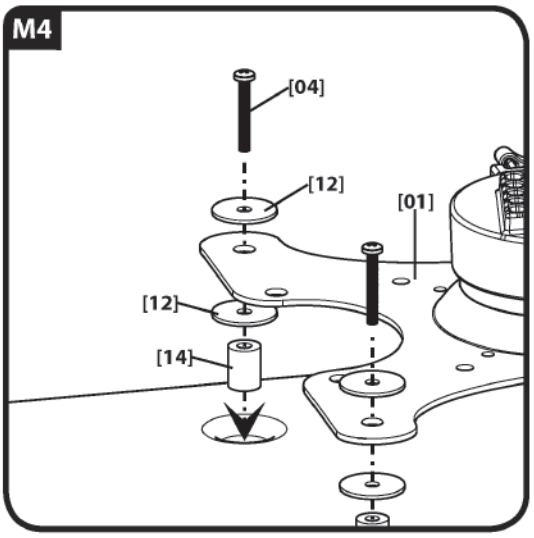
（2）薄型テレビの背面にマウントブラケット [01] を配置し、先に調べたその適合するネジ穴の口径に従って、次の作業をします。

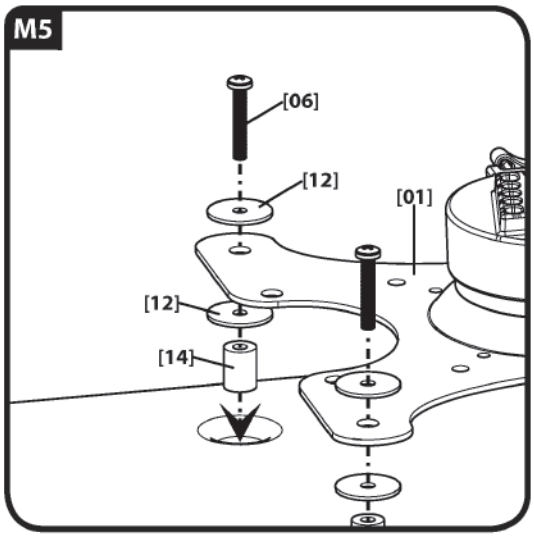
（3）ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、及びスペーサーを各々 4 コづつ使って、薄型テレビにマウントブラケット [01] をしっかりと取り付けます。
マウントブラケットの取付方向は、(1 図）に示す矢印の「上方向」を上向きにして下さい。
ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の長さの物を使って下さい。
長すぎると、薄型テレビの内部の部品に接触し、破損する恐れがあるので、注意して下さい。

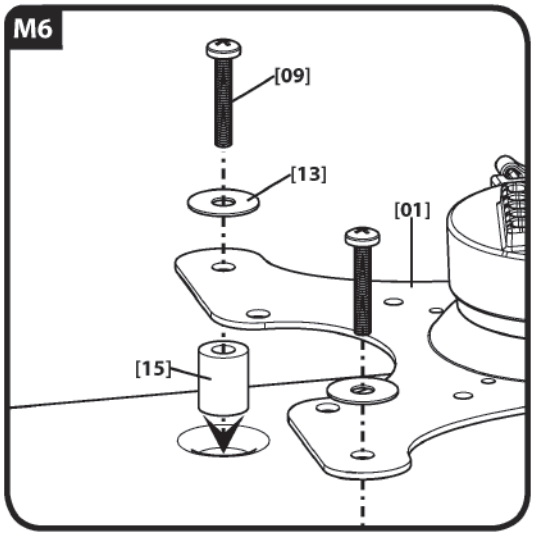
F 図

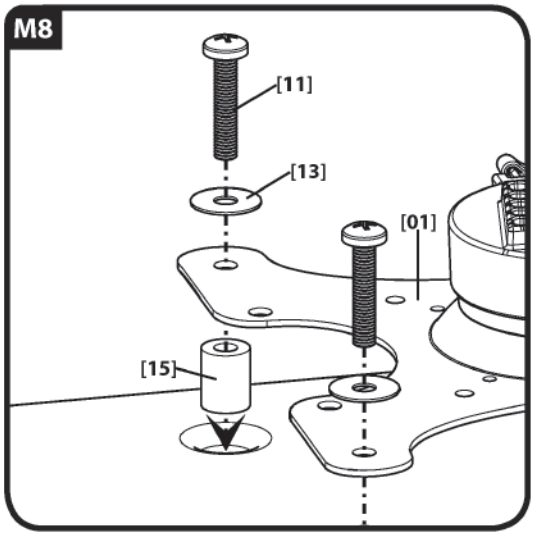
（1 図）











4　壁面取付金具の木柱の壁面への取り付け

禁止

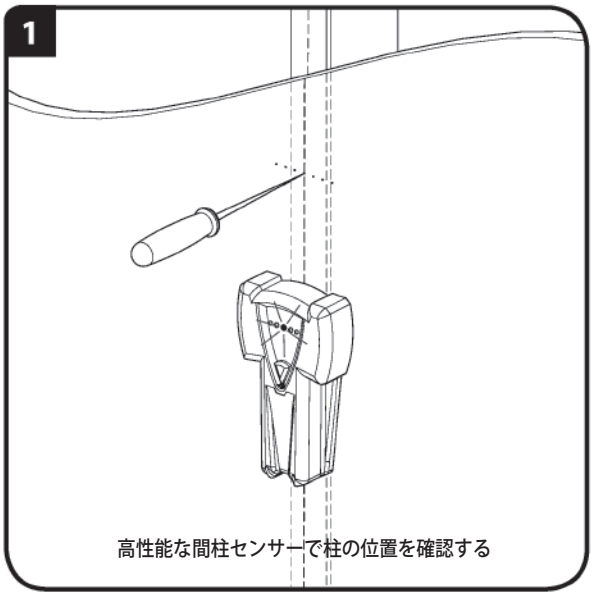
壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 27.2kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。
各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。 下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

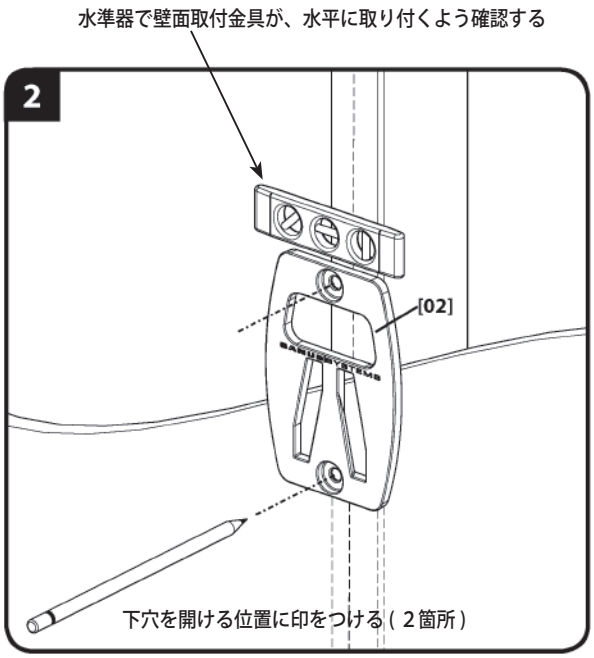
（1）G 図の 1 図～ 5 図に示す順序で、壁面取付金具 [02] は、 1 本の木柱の上に、 2 本のラグボルト [16] で固定します。

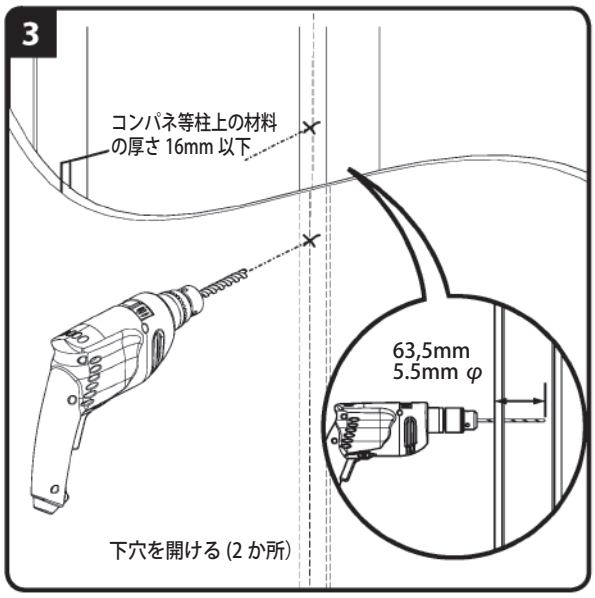
（2）ラグボルト [16] は、締め付けすぎないようにしてください。
ラグボルト [16] が、壁面取付金具 [02] 上のワッシャー [17] に引き込まれる程度の強さで締め付けて下さい。

（3）壁面の上を覆っている材料は、16mm 以下にしてください。　又、壁面取付金具は、コンセントの近傍の位置を避けてください。

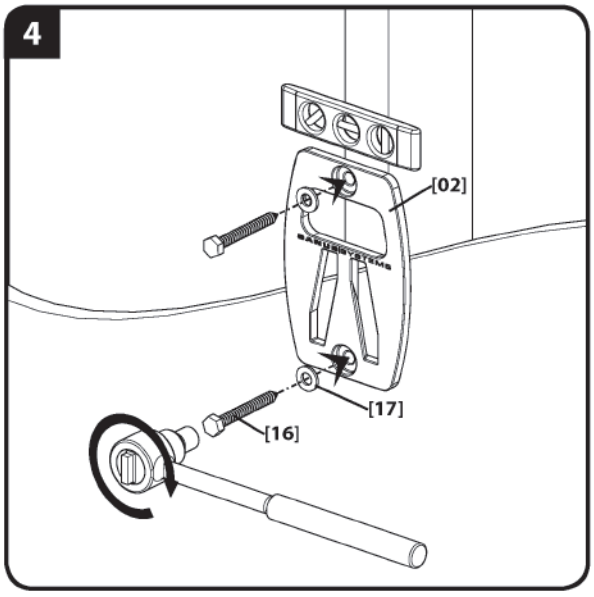
G 図







壁面取付金具 [02] は、 2 本のラグボルト [16] とワッシャー [17] で固定



5　壁面取付金具のコンクリート壁面への取り付け

禁止

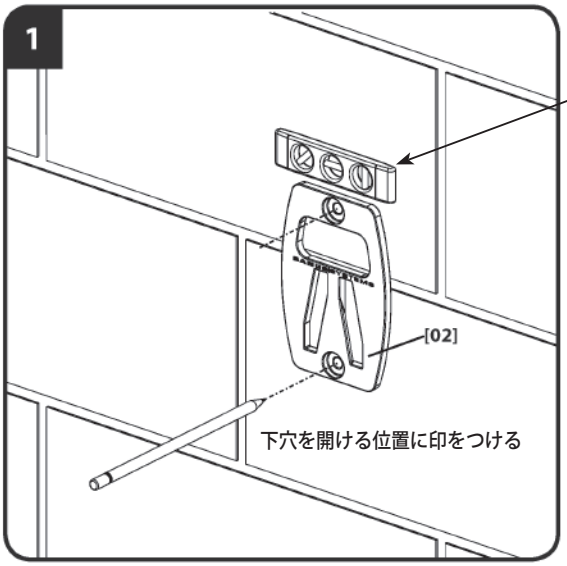
壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 27.2kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。
各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。 下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

（1）H 図の 1 図～ 5 図に示す順序で、壁面取付金具 [02] は、 2 本のコンクリートアンカー [18] と、 2 本のラグボルト [16] 及びワッシャー [17] で固定します。

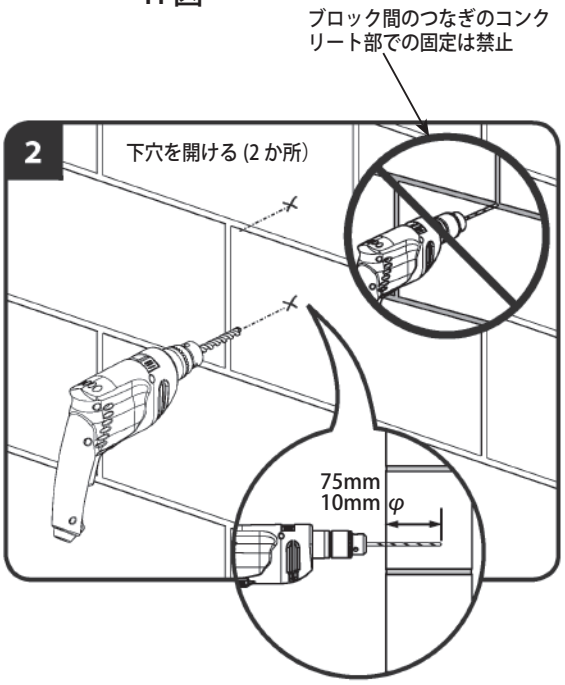
（2）壁面取付金具を型紙代わりにして、壁面に 2 箇所の取付穴位置に印を付けます。（1 図）
なお、コンクリートブロック壁の場合は、ブロック上に取り付けます。　ブロックのつなぎ目への取付は厳禁。

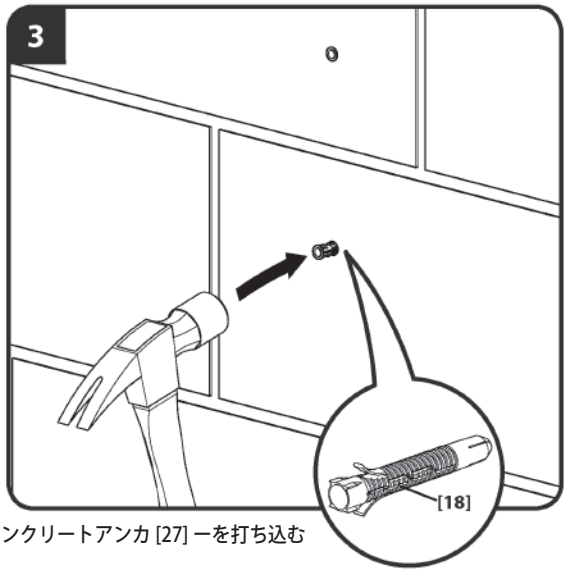
（3）コンクリートアンカー [18] を打ち込むために、10mmφ、75mm の下穴を 2 箇所開けます。（2 図）

（4）コンクリートアンカー [18] を打ち込んだ上に、取り付けるラグボルト [16] は、締め付けすぎないようにしてください。
ラグボルト [16] が、壁面取付金具 [02] 上のワッシャー [17] に引き込まれる程度の強さで締め付けて下さい。(3 図、4 図)



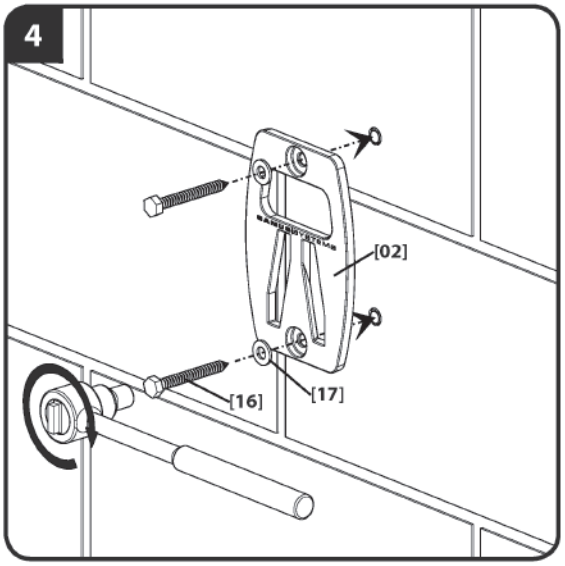
H 図





コンクリートアンカ [27] ーを打ち込む

壁面取付金具 [02] は、 2 本のラグボルト [16] とワッシャー [17] で固定

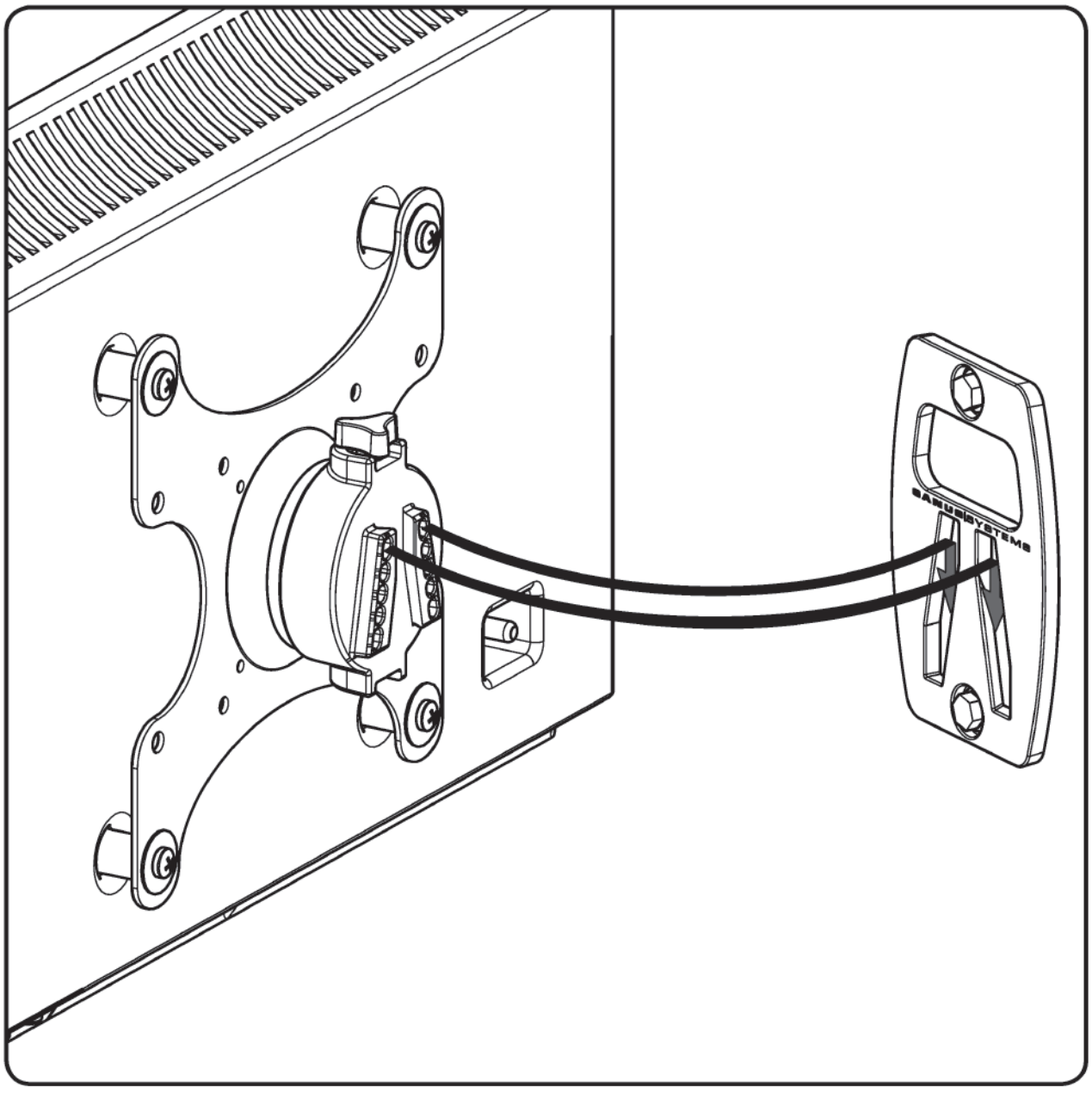


6　薄型テレビの壁掛け金具への取付

（1）**注意：この手順は、大人二人で組み立て作業して下さい。**

薄型テレビを取り付けたマウントブラケット [01] の突起部分を、I 図の矢印で示すように、壁掛け金具 [02] のスリット部分に滑り込ませる要領で取付けます。

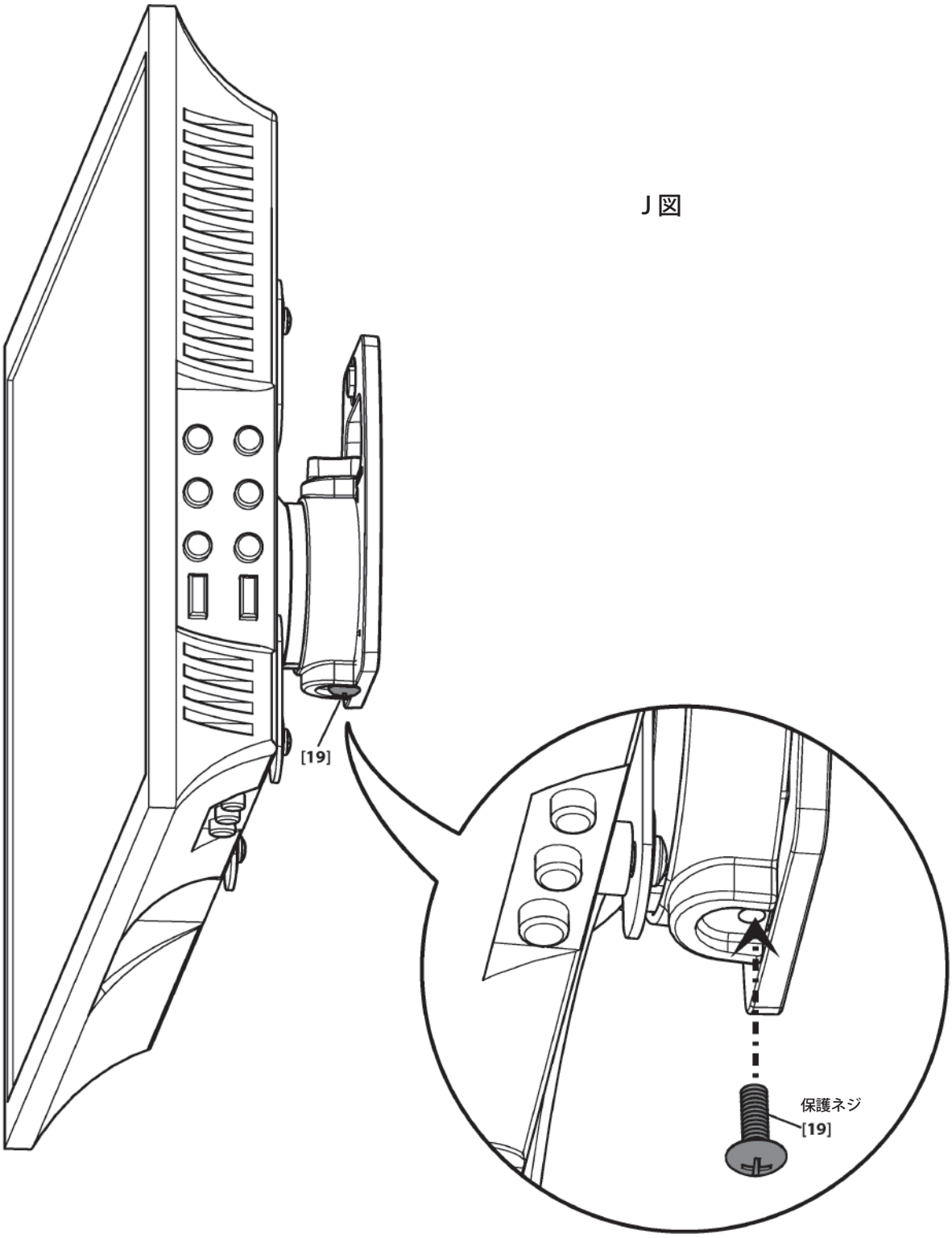
I 図



7　保護ネジの取付

（1）マウントブラケット [01] の下部のネジ穴に、保護ネジ [19] をねじ込んで、薄型テレビの取り付いたマウントブラケット [01] と、壁掛け金具 [02] をしっかりと固定します。

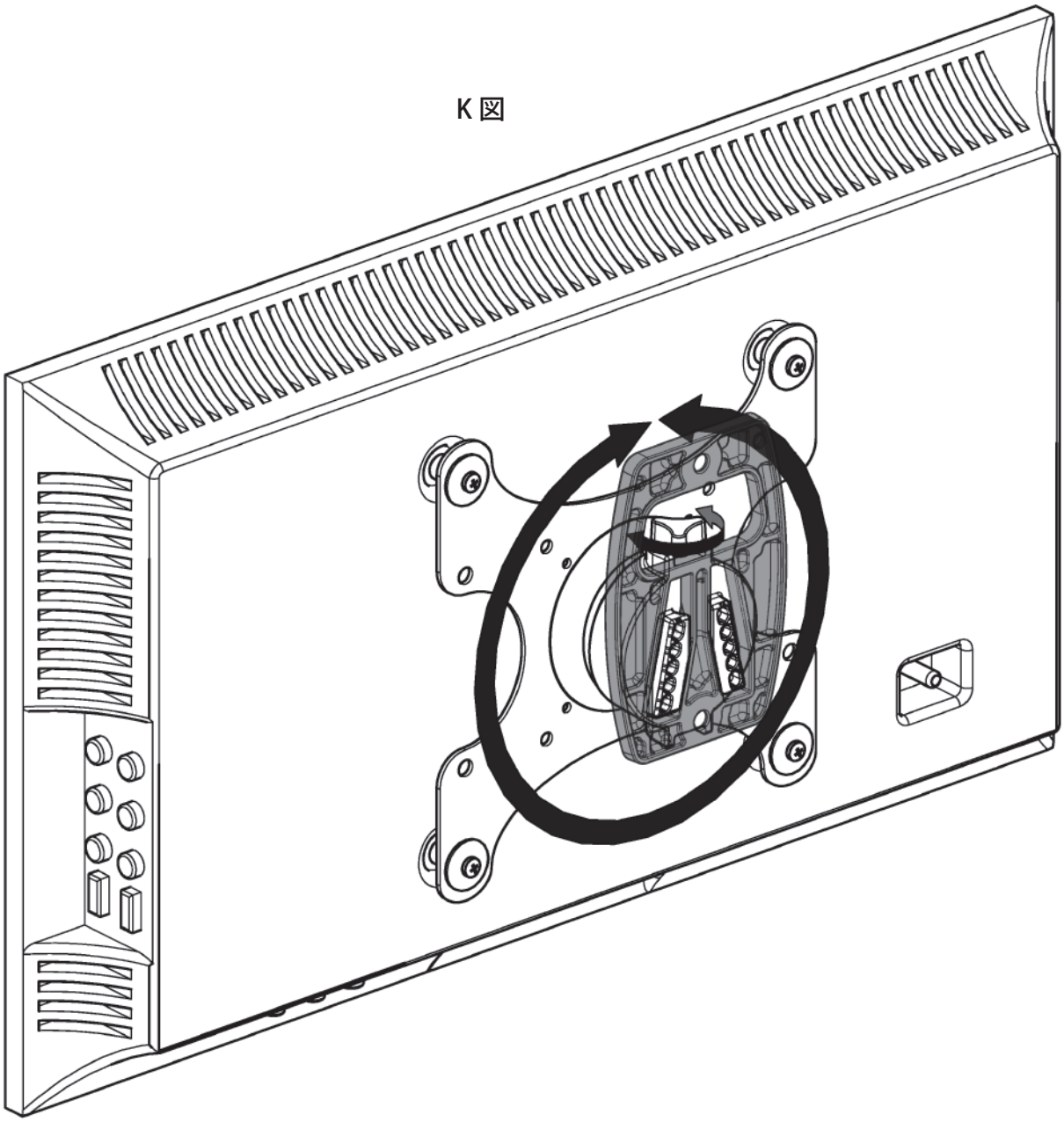
J 図



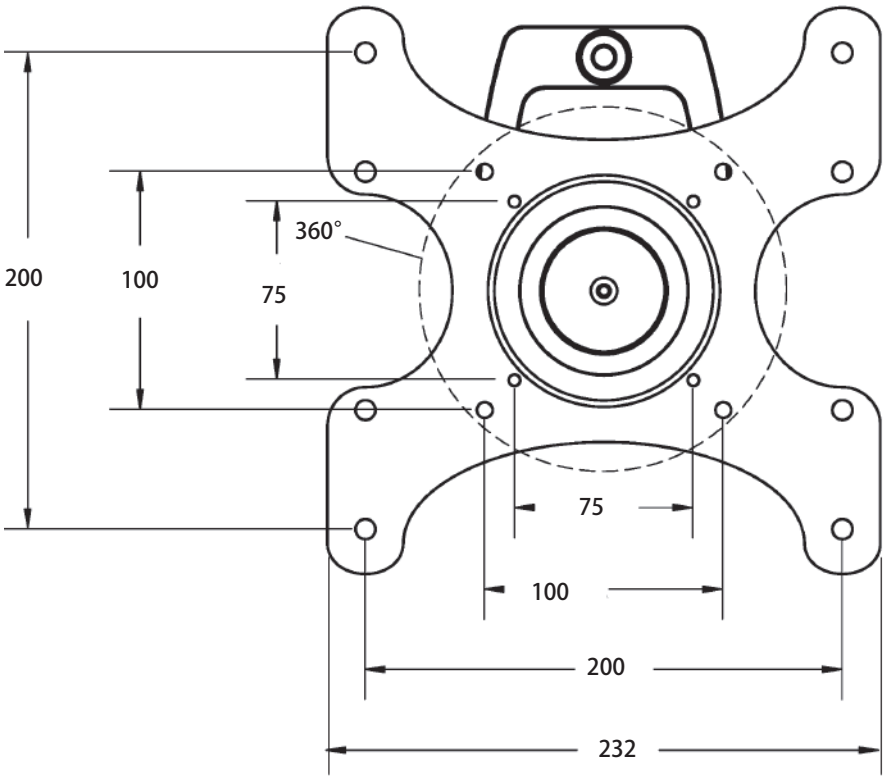
8　3D 回転のテンションの調整

（1）K 図に示すつまみを一旦緩めてから、薄型テレビを 3D 回転機構を使って、お好みの回転位置に合わせます。
　　3D 回転位置が決定したら、つまみ締め付けて薄型テレビを固定します。

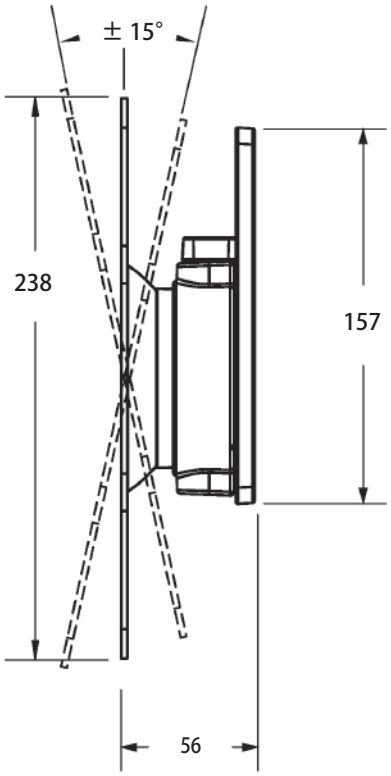
K 図



4．MF202 外観図



L 図



単位：mm
尺度：任意

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒 559-0031　大阪市住之江区南港東１丁目２－１６
ネットワークジャパン株式会社　TEL : 06-6612-2008　FAX : 06-6612-2050
http://www.network-jpn.com/　E-mail : info@network-jpn.com